

加古川市議会議員 落合誠(おちあいまこと)・柘植厚人(つげあつひと) 合同市政報告書 令和2年第7号

【市民のご相談に対する対応について】

地域の通称「ごみ屋敷」について私たち2名の議員に相談がありました。

- ・7月上旬に加古川市議会の応接室にて市民から相談をお伺いし、数日後現場を見学し近隣住民の皆様からこれまでの経緯を聞かせていただきました。また、行政相談に同席し、市担当者の所見を聞かせていただきました。
- ・7月中旬に神戸市の「神戸市住居等における廃棄物その他の物の堆積による地域の不良な生活環境の改善に関する条例」について調査研究したく、事務局を通じて視察の依頼を行いました。しかし、現在、コロナ等の対策で視察を受付していないとの事でしたので、ネット上の資料等で事前の勉強を行う事としています。
- ・次回の「なんでもトークカフェ」では、テーマの一つとして「ゴミ屋敷」問題を始めとする、「近隣トラブル」全般を取り上げる予定です。



【令和2年7月21日に開催した「なんでもトークカフェ」の主なご質問やご意見・ご要望について以下記載します。】

- ・加古川まつり花火大会や多くのイベント等が今年度中止となり、その当初予算を「新型コロナ」関係、「ウォーターサーバー」の各小中学校への設置、「新生児への補助」などに回してほしい。
- ・国民健康保険証と国民健康保険高齢受給者証が他の都市では、1枚にまとまっており、加古川市でも1枚にしてほしい。
- ・加古川うまいもん応援クーポンに関して。

7月17日現在138店舗に増えていますが、もっと増やすことと、対象店舗がわかるようにしてほしいとのご要望がありました。今後の協力や連携なども考慮して新たな取組みにつなげるような組織化なども検討してほしいものです。※加古川市は、テイクアウトやデリバリーを行っているお店を応援するためのクーポンを用意しました。クーポン参加店舗でクーポンを500円券として利用できます。加古川市民みんなで「うまいもん」を食べて、地元の味を応援しましょう！！参加店は、加古川観光協会のホームページで確認できます。



- ・お父様の介護との関係で、「自宅から最も近い地域包括センターが別の町に所在しているため、そこを利用することができません。町が異なっても最寄りの地域包括支援センターを利用できるようにしてください」とのご要望をいただきました。

・加古川市は、「棋士のまち」として売出しており、このこととタイアップして、将棋の駒の形をしたおみやげなど、加古川独自のお土産品の開発に市が先導して取り組むなどし、観光客へのアプローチやさらなる棋士のまちのPRに活用してほしい。



- ・ふるさと納税をうまく活用して、今回の「新型コロナ」で影響を大きく受けた業界、飲食業などを支援するふるさと納税の充実など、地域のために何かしたい方の心に訴えるようなものを総務省と相談して実施してほしいとのご意見をいただきました。

・さらに、近隣とのトラブルや個人的なお悩み相談など、多くの「なんでもトーク」がありました。ここに全てを記載することはできませんが、今後の参考になるものや、更なる取組みに活用すべきご意見などもあり、充実したトークカフェとなりました。上記のご要望やご意見・ご相談については、内容により、すぐに対応可能なものや、時間をかけて調査研究してから行動した方がいいもの、さらには、タイミングが重要なものなど、様々ですが、私たちがなりに考えて行動や対応を行っていきます。